

予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

1. 日 時 平成29年9月21日(木曜日)
午後1時30分～午後1時42分
2. 場 所 委員会室
3. 出席委員 猶 野 智 和 委 員 長 末 永 義 美 副 委 員 長
竹 岡 昌 治 委 員 徳 並 伍 朗 委 員
秋 山 哲 朗 委 員 安 富 法 明 委 員
下 井 克 己 委 員 岩 本 明 央 委 員
山 中 佳 子 委 員 三 好 睦 子 委 員
高 木 法 生 委 員 岡 山 隆 委 員
秋 枝 秀 稔 委 員 戎 屋 昭 彦 委 員
杉 山 武 志 委 員 荒 山 光 広 議 長
4. 欠席委員 なし
5. 出席した事務局職員
綿 谷 敦 朗 議 会 事 務 局 長 大 塚 享 議 会 事 務 局 長 補 佐
篠 田 真 理 議 会 事 務 局 主 任
6. 説明のため出席した者の職氏名
篠 田 洋 司 副 市 長 石 田 淳 司 市 長 公 室 長
田 辺 剛 総 務 部 長 佐々木 昭 治 総 務 課 長
竹 内 正 夫 財 政 課 長 志 賀 雅 彦 建 設 農 林 部 長
中 村 壽 志 建 設 課 長
7. 会議の次第は次のとおりである。

午後1時30分開会

○委員長（猶野智和君） ただいまより、予算決算委員会を開会いたします。

それでは、さきの本会議におきまして、本委員会に付託されました市長提出議案2件のうち、議案第84号につきまして、審査いたしたいと思っておりますので御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、議案第84号平成29年度美祢市一般会計補正予算（第3号）を議題といたします。

執行部より説明を求めます。中村建設課長。

○建設課長（中村壽志君） それでは、一般会計補正予算84-10、11ページでございます。

8款土木費につきまして、御説明をいたします。2項道路橋梁費・3目橋梁維持費の工事請負費につきまして、5,250万円を追加するものでございます。

これは、右のページの説明欄001橋梁整備事業の施設整備工事でございます、秋芳町の市道戸桶の口線の巖島橋橋梁補修工事ほか2件の工事請負費でございます。

このたびの補正につきましては、県より交付金の追加配分希望の照会がございまして、橋梁長寿命化計画に沿った事業を要望した結果、社会資本整備総合交付金の配分を受けたことによるものでございます。財源は国の60%の交付金でございます。

なお、歳入といたしまして84-8、9ページをお開きください。

14款国庫支出金・2項国庫補助金・4目土木費国庫補助金において、3,150万円を追加しております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 竹内財政課長。

○財政課長（竹内正夫君） それでは引き続きまして、歳入について御説明を申し上げます。

18款繰入金・1項基金繰入金・1目財政調整基金繰入金におきまして、財源調整といたしまして、財政調整基金繰入金を2,100万円追加しております。

以上で、平成29年度美祢市一般会計補正予算（第3号）の説明につきまして、終わります。

○委員長（猶野智和君） 説明が終わりました。本案に対する質疑はございませんか。下井委員。

○委員（下井克己君） 先ほど、秋芳町内の市道で、ほか2カ所ですから、計3カ所と言われたんですけど、3カ所くらいであれば、地区と橋の名前くらい言っていただければ助かりますが、お願いします。

○委員長（猶野智和君） 中村建設課長。

○建設課長（中村壽志君） ただいまの下井委員の御質問にお答えいたします。

3橋ほどの補修追加工事でございますが、1橋は先ほど申しましたように市道戸桶の口線ということで、秋芳町の嘉万周辺の橋梁でございます。

2つ目ですが、市道友永橋近光線にかかっております友永橋、こちら美東町大田になります。

最後になりますが、もう一つですが、市道新町平原線の古官場橋、こちら美東町大田地区の橋であります。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんか。岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 今回、一般財源も2,100万ついております。国庫も6割ということで説明がありました。

それでですね、今回いろいろ昭和——このまずですね、橋梁3カ所、これを設置したこの年代がですね、経年何年たっているか。そして、その橋梁の更新時期がいろいろ昭和30年、40年から建て替えの、そういった橋梁の更新の時期にはどんどんきておりますけれども、今回、この橋梁の更新に至ったこのところの要因、経年もあると思いますし、検査でこの橋梁が耐えられないとかね、さまざまな要因があると思いますけれども、今回その辺について、まず御説明願いたいと思います。

○委員長（猶野智和君） 中村建設課長。

○建設課長（中村壽志君） ただいまの岡山委員の御質問にお答えいたします。

まずは、3橋の設置した年数というところでございますが、こちらについては、今ちょっと手持ちに資料がございませんので、調べたあとに御説明申し上げたいと思います。

それと、このたび3橋追加でやるということで、補修にあたっては長寿命化計画というのを平成26年3月に策定しております。それに基づき、順次早期措置段階という区別でいいますと、1から4まであるわけですが、3にあたる早期に改良したほうがよいという橋梁を、あとは優先順位を加味して選んだところでございます。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 経年の年数がわからないということで、ちょっと質問もなかなか難しくなってくるんですけども、経年だけが更新の基準じゃないと思っております。実際、私も橋については、昭和の初期の段階で、もう70年も経っているという、こういったところの橋もありまして、経年でなければ点検、検診で、これは今、時代的には大きなトラックが通ったら、ちょっと厳しい面がある。まあそういう面での私は判断で、今回この橋梁の更新があったと思っておりますけれども、その辺について、経年があるといっても、70年とか経ったやつも若干ありますので、その辺の対応については、ちゃんと検診、検査をして大丈夫という、こういった認識なんでしょうか。その辺について、ちょっとお伺いします。

○委員長（猶野智和君） 中村建設課長。

○建設課長（中村壽志君） ただいまの岡山委員の御質問にお答えいたします。

美祢市の橋の状況、まず御説明させていただきますと、現在524橋ございまして、50年——建設後50年を経過する橋は176橋で、約33パーセントを占めてる状況で、先ほど申されましたように、経年劣化が激しいところも、そういった意味ではございます。

特に、昭和30年代から高度経済成長期に集中的に整備された橋が多いため、今後20年間に高齢化する橋梁は79パーセントに達する、そういう状況でございます。

そういったところを踏まえまして、今、市では5年に一度の建設目視点検というのを、平成26年度から始めております。これにつきましては、目視点検より一步踏み込んだ点検となっております。実際に手で触れ打診検査をして、損傷度を測るといったような細かい——より細かな点検を実施しております。

ですから、その結果を踏まえて、措置が必要な、予防保全的措置が必要な橋梁をピックアップし、順次工事を進めていくというふうな考え方をもっております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 今、橋梁に関しては524橋、50年経ったところのものが170とあるということで、かなりウエイト的には33パーセントということで、ちょっと、そういった更新時期のものが多いなということを感じています。今後は一気

には当然、こういった更新はできるわけでもないし、人口規模、財政、そういった面でしっかりとこの辺は調整していかなくちゃならないと思っております。

それで、しっかりと今言われた目視点検、打診検査をしながら、基準に沿っての対応策を、私はちゃんとしてきておると思っておりますので、どうか今後とも長寿命化計画にのっとっての、この更新というもの、基準にのっとって、着実に財政の面も踏まえながら対応していただきたいことをお願いして、私の質問は終わります。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。それでは、本案に対する御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） それでは、これより議案第84号を採決いたします。本案について、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 全員異議なしと認めます。よって議案第84号は原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、本会議で本委員会に付託されました議案1件につきましての審査を終了いたしました。

その他委員の皆さんから何かございましたら、御発言をお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） ないようでしたら、これにて本委員会を閉会いたします。御審査、御協力、誠にありがとうございました。お疲れ様でございました。

午後1時42分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成29年9月21日

予算決算委員長